

平成23年(2011年)8月10日(水曜日)

# 宮城・福島の被災家族がツアー

## 富士登山で達成感

GW三島招待

東日本大震災で被災した宮城県石巻市や福島県いわき市の児童と親ら88人が7日、富士登山ハイキングに挑戦した。初めて富士山を訪れる参加者が多く、あいにくの天候や登山のきつさに途中泣き出す子どももいたが、全員、約3時間半の行程を歩き通した。

NPO法人グラウンドワーク三島が招待した3泊4日の「富士山に登って元気になろうツアー」のメインイベント。小中学生を中心に未就学児

から60代まで幅広い世代が参加した。同法人のインストラクターや学生ボランティアが同行し、総勢約130人で臨んだ。

行程は富士宮口新5合目を出発し、新6合目、宝永火口を経て樹林帯を抜けるコース。きつい登り道では手を取り合い、互いに励ましながら前に進んだ。昼食を食べた宝永第2火口では雲が切れ、眺望を楽しむことができたという。

参加者は住む家が損壊

し、避難所や仮設住宅、賃貸住宅などの生活を

余儀なくされている。2〜8歳の子ども3人を連れて参加した石巻市の主婦伊藤真由美さん(30)は「子どもたちは日本一の富士山を歩いて達成感を得たようだ。きつかった



霧の中、新6合目付近を進む子どもたち—富士山登山道(グラウンドワーク三島提供)

けど参加して大変良かった」と感想を話した。